

授業科目名	地 域 看 護 I			担当教員	西村 和美、緒方 文子	
開講年次	2 年後期	セメスター	4		時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	必修	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	地域で生活する人々の健康について考えるために、健康と生活、社会、環境との関係性について学び、対象者にとっての生活の質について学ぶ。					
到達目標	1. 歴史を通して変化してきた、社会・生活環境と健康問題の関わりについて理解することができる。 2. 国際生活機能分類について理解し、地域で生活する人々の健康と生活の質について考えることができる。 3. 一次・二次・三次予防に関わる地域看護活動の目的と方法を理解し、人々が自らの健康問題を高めるために、看護職が支援することの意義を説明できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	看護の対象となる人間はコミュニティに所属して生活を継続しているため、あらゆる対象の看護にとって地域看護の視点は不可欠である。本科目は看護の基本概念である人間の生活と健康の理解を深め、「人間の尊厳と権利を擁護する力」「問題解決力」を養う。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○			◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	地域看護とは 健康、生活の質 社会の変化と健康課題	講義	予習：教科書の第 10 章公衆衛生看護の歴史と第 4 章社会環境の変化と健康課題を読んでおくこと		60 分	西村
2	地域看護を理解するうえで重要な概念① プライマリヘルスケア、予防	講義	予習：教科書の第1章公衆衛生看護の理念と第 5 章公衆衛生看護活動の展開の基盤を読んでおくこと 復習：授業内容を復習する		各 30 分	西村
3	地域看護を理解するうえで重要な概念② ヘルスプロモーション	講義	予習：教科書の第 1 章公衆衛生看護の理念を読んでおくこと 復習：授業内容を復習する		各 30 分	西村
4	地域看護を理解するうえで重要な概念③ 国際生活機能分類 (ICF)	講義 (AL)	予習：教科書の第 1 章公衆衛生の理念および厚生労働省 HP の ICF 序論を読んでおく 復習：授業中に提示した事例について展開する		各 60 分	西村
5	地域看護活動の展開① 個人・家族のとらえ方と援助	講義	予習：教科書の第 2 章を読んでおく 復習：授業内容を復習する		各 30 分	緒方
6	地域看護活動の展開② 集団のとらえ方と援助	講義	予習：教科書の第 2 章を読んでおく 復習：授業内容を復習する		各 30 分	緒方

7	地域看護活動の展開③ 地域全体を対象とした援助	講義	予習：教科書の第3章と第6章を読んでおく 復習：授業内容を復習する	各 60分	緒方
8	地域看護活動における看護の役割 定期試験のフィードバック	講義	予習：これまでの授業での学びを整理する	60分	西村
先行履修科目					
テキスト		標美奈子：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論。医学書院，2019.			
参考文献		平野かよ子 他編：ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生 第4版。メディカ出版，2015. 世界保健機関（WHO）：ICF 国際生活機能分類—国際生涯分類改訂版—. 中央法規，2002. 上田敏：ICF（国際生活機能分類）の理解と活用—人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか。きょうされん，2005.			
評価方法		筆記試験 100%			
教員等の実務経験		保健師や看護師の臨床経験のある教員が、地域で生活する人々の健康への支援について講義を担当します。			
メッセージ					